

「^さ渡^と島の金山」世界文化遺産登録を契機と
した地域価値の向上に関する調査報告書
～持続可能な佐渡市の実現～

(経済波及効果の再試算)

2024年9月

 DBJ 日本政策投資銀行 新潟支店

 DBJ 株式会社 日本経済研究所
日本政策投資銀行グループ

報告書の概要

- 株式会社日本政策投資銀行は、2021年7月に株式会社日本経済研究所と共同で佐渡市が目指すべき将来像の実現に向けて調査（「佐渡島の金山」世界文化遺産登録を契機とした地域価値の向上に関する調査報告書～持続可能な佐渡市の実現～）を実施し、「佐渡島の金山」が世界文化遺産に登録された場合の経済波及効果の試算等を公表している。
- 当報告書では、今年7月に「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録が実現したことを踏まえて、観光客の来訪による**経済波及効果の再試算**を行った。
- コロナ禍前の2019年度に49.8万人だった佐渡市への来訪者は、2020年度には26.1万人に減少したが、2023年度は44.4万人となり、2019年度の9割の水準まで回復した。来訪者は日本人客が大部分を占めており、外国人比率は限定的である（図表1～3）。
- 日本人宿泊客の旅行消費単価は2021年度にかけて大きく低下した後、足元は上昇傾向にあり、2023年度の単価は2019年度を上回っている（図表4～6）。
- 今回の試算では、世界文化遺産登録の翌年1年間の観光客来訪による経済波及効果を計算した。登録1年後の来訪者数は、前回の試算と同じ**67.8万人**と想定する一方、**旅行消費単価の上昇**を踏まえて、新たな試算を行ったところ、旅行消費額は367億円だったものが412億円となり、**経済波及効果の総合効果**は**517億円**だったものが**585億円**となった（図表7～11）。
- なお、世界文化遺産登録を受けて、旅行代理店では来年度に向けて佐渡観光ツアーの企画が増えているとの話も聞かれ、本格的に体制が整う2025年度の来訪者数が大きく増加することが期待される。一方で宿泊や飲食施設の不足や運営を担う人手の不足、冬季の来訪者数確保などの課題は残されており、試算の前提となる来訪者数を確保するには、幅広い関係者による努力が欠かせない。また、折角訪れた来訪者をしっかりおもてなしができず、がっかりされてしまったら、その後の佐渡観光の振興には却ってマイナスとなってしまふ。中長期的な佐渡島の観光振興には、単価の上昇とそれに見合った来訪者の満足度の向上も重要と考えられる。

※外国人旅行者の2023年度実績は未公表のため、2022年度までの実績や日本人客の単価動向を踏まえて試算した。

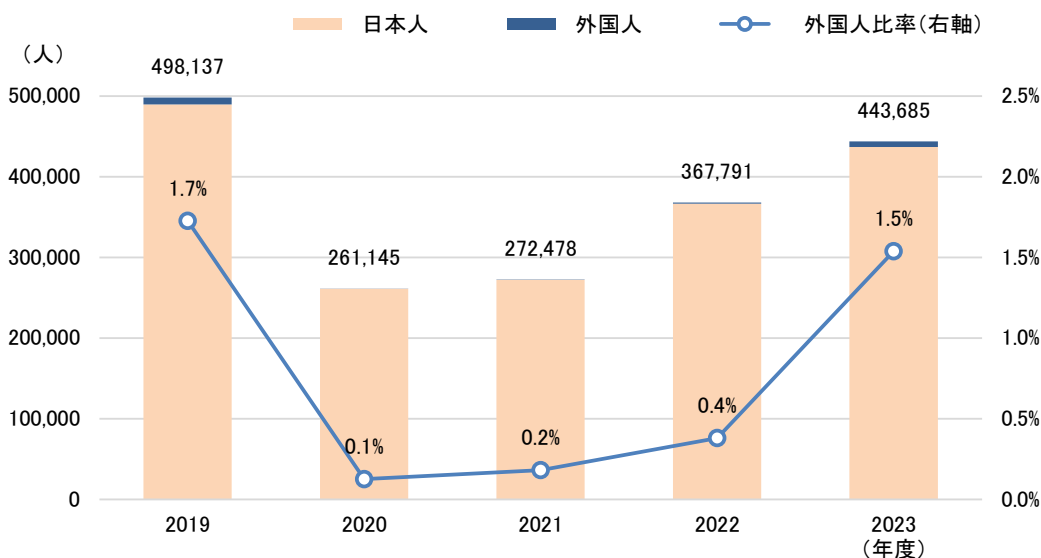
1. 来訪者数の内訳

図表 1 佐渡市への来訪者の滞在時間別人数（2025 年度・登録 1 年後の想定値）

	人数（人）	
	日本人	外国人
日帰り（半日、1日）	5,536	266
1泊2日	269,869	1,439
2泊3日	298,932	5,492
3泊以上	92,032	4,500
合計	666,369	11,697
総計（目標来訪者数）	678,066	

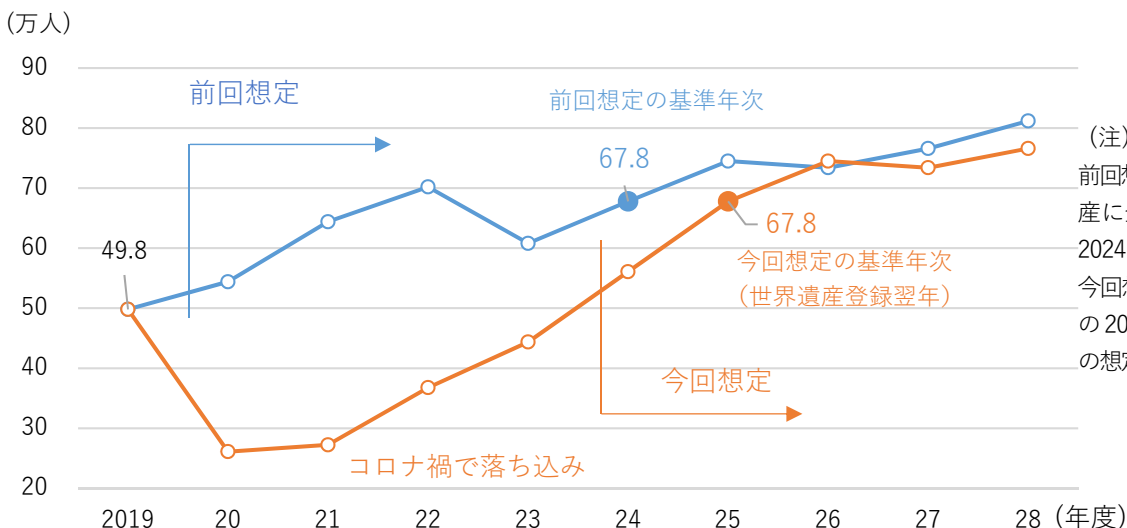
出所：（一社）佐渡観光交流機構「佐渡観光データ調査分析業務報告書」、「来訪者満足度調査 トキめき佐渡・にいがた観光圏（調査地点=佐渡）報告書」をもとに（株）日本経済研究所が作成

図表 2 佐渡市への来訪者推移（2019～2023 年度）



出所：（一社）佐渡観光交流機構「佐渡観光データ調査分析業務報告書」

図表 3 佐渡市への来訪者の想定



（注）
 前回想定では、2023 年度に世界遺産に登録されるとして、翌年度 2024 年度を基準年として試算。
 今回想定では、世界遺産登録翌年の 2025 年度を基準年とし、来訪者の想定は前回と同じとして試算。

出所：（一社）佐渡観光交流機構「佐渡観光データ調査分析業務報告書」および 2021 年 7 月に公表の「佐渡島の金山」世界文化遺産登録を契機とした地域価値の向上に関する調査報告書～持続可能な佐渡市の実現～より（株）日本政策投資銀行作成

2. 旅行消費単価

図表 4 旅行消費単価（2019年度）

	日本人宿泊客（円）	外国人宿泊客（円）
交通費	13,680	11,857
宿泊費	22,685	23,100
飲食費	7,192	10,179
買い物費	6,796	39,985
その他（入場料など）	3,459	15,190
旅行消費単価計	53,812	100,311

（注）消費単価計は、報告書内の「総額」ではなく、各消費単価の合計値を採用した。

出所：（一社）佐渡観光交流機構「来訪者満足度調査 トキめき佐渡・にいがた観光圏（調査地点＝佐渡）報告書」

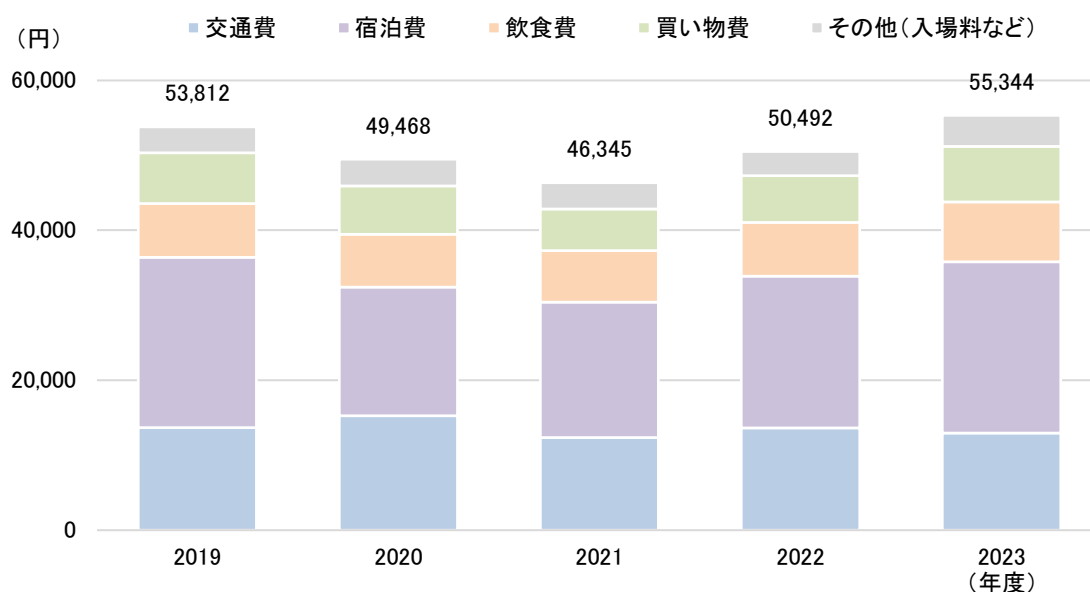
図表 5 旅行消費単価（2023年度）

	日本人宿泊客（円）	外国人宿泊客（円）
交通費	12,936	11,860
宿泊費	22,846	23,107
飲食費	8,008	10,182
買い物費	7,404	39,996
その他（入場料など）	4,150	15,194
旅行消費単価計	55,344	100,340

（注）消費単価計は、報告書内の「総額」ではなく、各消費単価の合計値を採用した。

出所：（一社）佐渡観光交流機構「来訪者満足度調査 トキめき佐渡・にいがた観光圏（調査地点＝佐渡）報告書」

図表 6 日本人・宿泊客の旅行消費単価推移（2019～2023年度）



出所：（一社）佐渡観光交流機構「来訪者満足度調査 トキめき佐渡・にいがた観光圏（調査地点＝佐渡）報告書」

図表 7 2025 年度の旅行消費単価（試算の前提）

	日本人宿泊客（円）	外国人宿泊客（円）	2023 年度比上昇率 の前提
交通費	14,200	13,000	+10.0%
宿泊費	25,100	25,400	
飲食費	8,800	11,200	
買い物費	7,800	42,000	+5.0%
その他（入場料など）	4,400	16,000	
旅行消費単価計	60,300	107,600	+9.0%

< 試算の前提の考え方 >

- 総務省「消費者物価指数」によると 2023 年度の消費者物価上昇率（生鮮食品及びエネルギーを除く総合）は前年比 3.0% 上昇となった。内訳をみると宿泊費（同 25.5% 上昇）、レンタカー料金（同 17.9% 上昇）、一般外食（5.2% 上昇）、菓子類（10.4% 上昇）など、**旅行消費に関連する項目では特に伸び率が高くなっている。**
- 内閣府の政府経済見通し年央試算（2024 年 7 月公表）によると、2024 年度の消費者物価上昇率（総合）前年比 2.5% 上昇との見通しが示されており、2023 年度実績よりは伸び率は鈍化するものの、円安による輸入物価の上昇や人手不足による人件費の上昇などにより、**高めの物価上昇率が続く見込み**である。
- 旅行者は価格の上昇に対して、宿泊するホテルのグレードを下げたり、お土産の購入点数を減らすなどして対応することも予想されるため、物価上昇分がそのまま旅行消費単価の上昇に反映される訳ではないものの、そうした対応にも限界があるため、旅行消費単価についても一定の上昇が見込まれる。
- こうした状況を踏まえて、宿泊施設や飲食店の席数、レンタカー台数についてはキャパシティに限界があるため、**交通費や宿泊費、飲食費については 2023 年度比で 10% の高めの上昇**を想定し、お土産などの**買い物費やその他の単価についても 5% 上昇**する想定として試算を行った。なお外国人宿泊客の消費単価については、円安効果もあって日本人以上に上昇する可能性があるが、一先ず、日本人宿泊客と同様の伸び率としている。また 100 円未満の端数については四捨五入している。

3. 年間旅行消費額

図表 8 「佐渡島の金山」が世界文化遺産に登録された1年後に期待される年間旅行消費額
(前回試算)

	日本人 (百万円)	外国人 (百万円)
交通費	9,058	136
宿泊費	14,991	264
飲食費	4,761	116
買い物費	4,495	466
その他 (入場料など)	2,288	174
旅行消費額計	35,593	1,156
旅行消費額総計	36,749	

出所：(株)日本経済研究所が試算

注：「前回試算」とは、2021年7月に公表した「佐渡島の金山」世界文化遺産登録を契機とした地域価値の向上に関する調査報告書～持続可能な佐渡市の実現～における試算

図表 9 「佐渡島の金山」が世界文化遺産に登録された1年後に期待される年間旅行消費額
(今回試算)

	日本人 (百万円)	外国人 (百万円)
交通費	9,461	149
宿泊費	16,587	290
飲食費	5,840	128
買い物費	5,185	490
その他 (入場料など)	2,928	183
旅行消費額計	40,001	1,240
旅行消費額総計	41,241	

出所：(株)日本経済研究所が試算

4. 佐渡市への経済波及効果

図表 10 「佐渡島の金山」が世界文化遺産に登録された1年後に期待される佐渡市内への経済波及効果（前回試算）

経済波及効果	直接効果 (百万円)	一次間接 (百万円)	二次間接 (百万円)	総合効果 (百万円)	波及倍率 (倍)
生産誘発額	30,588	12,216	8,878	51,682	1.69
粗付加価値額	15,249	6,681	5,437	27,367	1.79
雇用者所得額	8,897	3,291	2,597	14,785	1.66

出所：佐渡市産業連関表（2016年版）等を用いて(株)日本経済研究所が試算

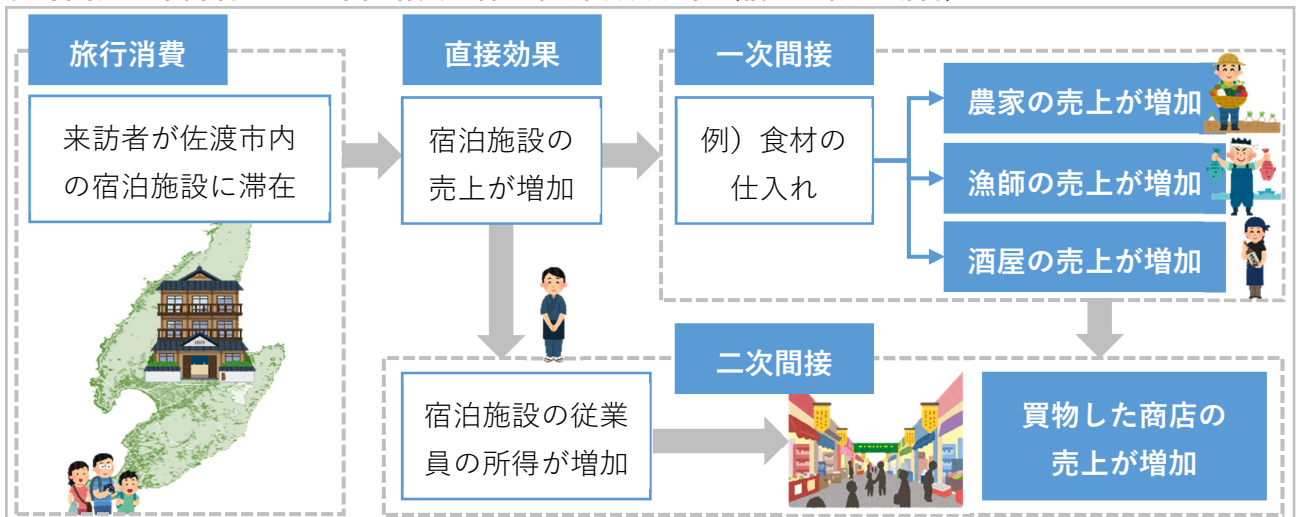
注：「前回試算」とは、2021年7月に公表した「「佐渡島の金山」世界文化遺産登録を契機とした地域価値の向上に関する調査報告書～持続可能な佐渡市の実現～」における試算

図表 11 「佐渡島の金山」が世界文化遺産に登録された1年後に期待される佐渡市内への経済波及効果（今回試算）

経済波及効果	直接効果 (百万円)	一次間接 (百万円)	二次間接 (百万円)	総合効果 (百万円)	波及倍率 (倍)
生産誘発額	34,657	13,825	10,037	58,519	1.69
粗付加価値額	17,309	7,557	6,146	31,012	1.79
雇用者所得額	10,056	3,722	2,936	16,714	1.66

出所：佐渡市産業連関表（2016年版）等を用いて(株)日本経済研究所が試算

参考図表 来訪者による旅行消費に伴う経済波及効果（宿泊施設の場合）



出所：(株)日本経済研究所作成

 **DBJ** 日本政策投資銀行 新潟支店

 **DBJ** 株式会社 日本経済研究所
日本政策投資銀行グループ